

チア・コンベンション 2023 アンケート



【大人】

●久々の対面でのコンベンションはやはり嬉しかったです。今回は、これからHS始まりますというご家族が多かった印象を受けました。天候も守られたので、子どもたちも代々木公園に遊びに行けて良かったなあと思います。

今回は基調講演・分科会を通して、もっと子どもの話に耳を傾け、関心を持って聞き、褒め、子どもが伝えたがっていることを忍耐強く聞き出し、もっとコミュニケーションを取りなさい、と言われたと感じました。良きチャレンジを受け取りました。

(神奈川／Aさん)

●たくさんの恵み、励ましを頂きました。コンベンションを通して神さまが語って下さったこと、みことばを握って、神さまが与えて下さった機会を無駄にしないように日々歩みたいと思いました。

(広島／Bさん)

●久々のコンベンション、ホームスクーラーのご家族、丸森の方たち、懐かしいお顔にお会いできて、ほんとうに嬉しく、元気をもらいました。「チアの集まりでこれまで毎年、力をもらってきたのだな～」と改めて感じました。

初めてお会いするご家族もたくさんいらして、ホームスクールの波が続いていることを感じました。コンベンションが再開されて本当に嬉しいです。(東京／Cさん)

●とても良かったです。特に、基調講演で、子どもに無理を強くないこと、その子のペースがあること、それこそがホームスクーリングをやっていくメリットであるのに、親が焦ってしまっていること、神さまのご計画と導きに信頼を置くべきことを教えられました。

欠けの多い親としては、本当に良い学びの機会でした。また、久しぶりの方も、初め

ての方も、多くのホームスクーラーにお会いすることができ、原点に戻る良い機会となりました。(沖縄／Dさん)

●開催の1週間前にチアを知り、すぐる気持ちで参加しました。初参加でしたが、信仰を同じくする大勢の人々と共に賛美や分科会に出ることができ、励まされました！

(千葉／Eさん)

●大変素晴らしかったです。ヤング夫妻の具体的なセミナーは、家族や子どもとの健全な関係構築を学ぶ上で大変参考になりました。久しぶりにリアルな集いに集うことができ、ホームスクーラー同士が共に交わる機会が与えられて感謝です。チアの存在は、これからホームスクーリングに取り組もうと考えておられる方々にとって、かけがえのない存在だと思います。

(広島／Fさん)



●ありきたりの言葉になりませんが、素晴らしかったです。毎年必ず参加していたので、3年間もコロナで開催されなかったことが、今さらながらちょっと悲しく感じてしまうほど良かったです。

ホームスクーリングは終わりに近づいているので、基調講演を聞きながら「こうできなかったな、ああできなかったな、あんなことをしなければ良かったな」と振り返っていました。悔い改めることが多く、コンベンション終了後、心から娘に謝りました。それは、ホームスクーリングが終わりに差し掛かっている私たちに必要なことだったと思います。

分科会でお話しさせていたいただきましたが、18年間の集大成ということで、感謝の気持ちを込めて娘も初めて分科会に同席しました。今までを振り返る良い機会になりました。

ホームスクーリングの仲間たちと分科会を回ったり、一

緒に食事をしたり、分かち合ったりして、楽しかったです。親も子も笑顔で、みんな輝いていました。天国の雰囲気でした。(広島／Gさん)

●4年ぶりのコンベンション開催ありがとうございます！毎年行われるのが当たり前だと思っていた自分に気づかされました。4年間なかったことにより渴きが一層与えられたと思います。

直前まで家族が順番にインフルエンザにかかり、参加が危うい中、主がもっと祈るように言われていると思いました。ぜひ参加できるように、また今回主が私に語られることを聞けるように、私たちが改善すべき点などを教えられるように祈って臨むことができ、感謝でした。

やはり同じ目的を持って日々奮闘している仲間との交わりや講演は感謝でしかありません。また頑張ろうと励ましを受け、もっと肩の力を抜

いていいと気づかされ、今後の勉強のヒントもいただくことができました。

(大阪／Hさん)

●開催直前まで、参加者のネットワーク作りのためにご尽力くださって感謝します。初めてご挨拶する方が「あ、リストでお名前を見ました」と言ってくださったり、私もお名前を確認できたりして、とても助かりました。住んでいる地域や子どもたちの年齢の情報もありがたかったです。また、お会いしたことのない東京の参加者の方も大勢おられることを知り、励まされました。

これまで何度かコンベンションに参加していたものの、チア会員ではありませんでした。経済的なこともあり、機会がある時に参加させていただければと、部外者の気持ちでした。

でも最近、私にも子どもにも、サポートされている安心感や、つながっているという



心強さが必要だと考えるようになり、チアのネットワークに加えていただきたいと願っていました。今回も、部外者でなくメンバーとして参加したいと思い、入会と参加のお申し込みを同時にしました。結果、気持ちだけの問題ですが、「ここに居ていいんだ。たくさん受け取ろう！」と遠慮なく過ごすことができました。

子どもたちもとても楽しい時間を過ごしたようで、ケアしてくださったご奉仕の皆さんに心から感謝いたします。

長男は帰り道、やったことを全部説明してくれました。LITの皆さんと過ごし、とても楽しかったようで、「次はLITになりたい」と言っています。次男は、長男が全部話してしまうので言葉は少なめでしたが、「とても楽しかったと満足気」でした。三男は、ケアしてくださったお姉さんたちがみんな親切で「大丈夫でしたよ」「こんなことをしましたよ」と教えてくださり、本当に心

強く、ありがたかったです。

おかげさまで親子ともども、たくさんの学びと励ましを受け取ることができました。ヤングご夫妻の話し方がとても素敵で、理想の夫婦像を見るようでした。ご夫婦が一致している様子を見て、私ですら嬉しく安心感を覚えるのなら、子どもたちはなおさらだろうと思います。目指したいお手本を見せていただけて感謝でした。(大阪/Iさん)

●「さまざまなことを自分の力で成し遂げるのではなく、主に信頼し、主の恵みにとどまり続ける者でありたい」。これが、今回最も思わされたことです。

召しを頂いた者として、遣わされた地で気落ちせずに歩み続けるためには、やはり目に見える形で励まし合える仲間が存在が不可欠です。コロナ禍の中、ある意味守りの中にありましたが、私たちがずっと必要としていたのはこの交

わりだったのだと思いました。今回、初めてお目にかかる若いご家族が何家族もおられて、これからは備えているという話を聞き、とても励まされました。

大人も子どもも期待以上に楽しむことができました。成長したよその子どもたちの姿を見て、思わず3年という年月の重みを感じてしまいました。若いご夫婦との出会いも嬉しかったです。

(岡山/Jさん)

●久しぶりのコンベンションで、子どもたちの成長と共に、世代交代を感じました。我が子も含め、これまでチルミニで遊んでいた子がLITで奉仕をする姿に、胸がいっぱいになりました。今までの恵みに加えて、初心・初めの愛に立ち返る時でもありました。新しい方々との出会いも嬉しく、懐かしい方々との再会も嬉しい2日間でした。

今回、ジョイス・イノウエさ



んの「子どもを祝福する」分科会に出て、内容としては以前も聞いたことがあったのですが、「知っている」と「やっている（実践している）」のでは大違いで、毎日の積み重ねの祝福の大きさを思い、反省しました。

また、ジョイスさんが「子どものために祈る時、これが最後かもしれない、と思って祈ること。それが祈りをきよめ、正しいものとする」とおっしゃっていて、本当にその緊張感や思いの大切さ、子どもを祝福することのできる親の特権を思い、涙が出ました。

昨夏、思いがけず、あっという間に父が最期を迎えたので、「いつが最後になるかは分からない」との言葉は本当に大切だと思います。だからこそ、今このような時代を迎えて、「再臨に備える」分かち合いをして下さったダニエル園長のメッセージも深く心に残っています。

(神奈川／Kさん)

●久しぶりの参加が想像以上に嬉しく、涙が出そうでした。やはりこのような励ましを必要としていたのだなあ、としみじみ感じた2日間でした。

2日目の基調講演「恐れからの解放」に、とても励ましを受けました。子どもたちは一人ひとり、神さまによってユニークに造られたと知ってながらも、他の家庭と比べて、恐れている自分がいたように思います。神さまが、子どもや家庭に何を望んでおられるのかを祈りの中で教えられながら、神さまの目的を信頼して歩みたいです。

私がホームスクーリングを始める時は、チアの働きのおかげで、学校との面談も含め本当にやりやすくなっていました。長男のHSも残りが2年余りとなり、頂いた恵みを、今度は他のご家庭の励ましやサポートでお返しできればと祈っています。(広島／Lさん)

●主が豊かに注がれる恵みと日本中のホームスクーラー家族との出会いで、心が満たされた時間となりました。

(静岡／Mさん)

●初めてのコンベンションに家族そろって参加することができ、またホームスクーラーの皆様とお会いできてとても嬉しかったです。息子もLITに初参加させていただき、ありがとうございました。

基調講演・分科会では皆様の経験を分かち合っ下さり、神さまからの知恵とたくさんの励ましを頂きました。祝福いっぱい2日間で、大阪のコンベンションにも行きたくなくなってしまいました。

(東京／Nさん)

●参加して本当に良かったです。ちょうど我が家の長男もプリティーン真っ最中!! なので今回のヤング夫妻のメッセージはこれからの心の備えになりました。しっかりメ

そして、教会のママ友にも恵みをシェアさせていただきました！ たくさんのホームスクーラーに出会え、息子もすごく嬉しそうでした。「また行きたい!!」と言っています。

(大阪／Oさん)

●長いブランクの後の再開をうれしく思った。講演はどれも良かった。励まされた。これからもコンベンションを続けられることを祈ります。

(山形／Pさん)

●今回、私はPA（音響）に抜擢していただき、多くの同志の方々と交わりを持つことができ、有意義な3日間でした。

PAをしながら聞いていた初日の基調講演「ティーンの子どもを失わないために」（ハル＆メラニー・ヤング夫妻）では、両親がどれだけ私たちを思ってくれているのかを改めて確認しました。

また、次の基調講演「イエスさまの再臨に向けての備え」

(ダニエル・ファンガー氏)で、神さまの贖いが近い、だからますます主のみこころは何であるかを追求し、伝道していきたいと思いました。

(山形／Qさん)

●初めての参加でしたが、温かい雰囲気の中、たくさんの恵みと励ましを受けました。ジョイス・イノウエさんの分科会で、息子のホームスクーリングに対するイメージがわかりました。実際にホームスクールをしている家族の証も良かったです。(兵庫／Rさん)

●親子で参加できて感謝でした。だいぶ世代交代していたのでしょうか、懐かしい方もいらっしゃったけど、初めてお会いする方も多かったです。

チアの会員を更新します。講演CDも頼みました。チアのお働きも、ますます祝福されますように！（神奈川／Sさん）

【子ども】

●賛美しているときに1番楽しかった。LITのみんなが楽しかったから来年もまた行きたいと思った。プチ運動会も楽しかった。(Aさん、9歳)

●おかしをもらって嬉しかった。(B君、6歳)

●たのしかった。(Cさん、6歳)

●はたとりたのしかったです。(Fさん、7歳)

●コンベンションもLITも初めて参加しました。全く想像が付き、(今から思えば度を越して)緊張しながら会場に来ましたが、LITの先輩方がとてもリラックスしていて、「気軽にやっていいんだ～」と正直ホッとして進むことができました。

終始チルミニのお相手役で、特に2日目は自分が一番遊んでいたような気がします。一人っ子&教会にも同世代なし



なので、久しぶりに子ども同士でギャーギャー楽しく過ごすことができました。

(D君、14歳)

●4年ぶりのコンベンションで楽しく遊べました。1日目のチルミニでやったフラフープをくぐりぬけるゲームが一番おもしろかったです。歌うのも楽しかったです。

(Eさん、11歳)

●久しぶりのコンベンション開催で、チルミニに参加していた子どもたちがみんなLITになっていて、(自分も含め)4年でこんなに変わるのかと驚きました(笑)。恵まれた2日間で感じたことは、ホームスクーラーのクリスチャン同士で集まり、神と人に仕える大切さでした。(G君、15歳)

●4年ぶりにコンベンションに行き、友達と一緒にLITとして参加しました。私は、小さい子どもたちのお世話が昔か

ら好きだったので、チルミニの子どもたちと遊べてとても充実した2日でした。

LITとして初めて参加したので、役目をちゃんと果たすることができるか少し不安でしたが、丁寧に教えて下さって感謝でした。1日目の朝に聖書の話を見ました。神さまに従う姿勢を学び、これからも色々な場面で実践したいと思いました。(Hさん、13歳)

●チアでできた友だちは親しみやすかったし、「ずっとチアにいたいな〜」って言うくらい楽しかったです。聖書のお話を聞いて、「親に対してすなおになろう」と思いました。

(I君、11歳)

●新しい友達ができ、楽しいゲームがいっぱいあったのでとても楽しかったです。聖書の話もすごく分かりやすかったです！ぼくも神さまの言うことやお父さん、お母さんの言うことを聞こうと

思った。(J君、11歳)

●初めてLITとして参加しました。4年ぶりに全国のホームスクーラーと時間を共にすることができ、本当に良かったです。

LITとしての働きは責任があり、神の家族と共に仕え合う体験は非常に有意義でした。LITとの交わりでも、神の国を目指すという同じ志を持って歩んでいることを感じることができました。良い機会でした。(K君、17歳)

●とても楽しかったです。正直に言うと、ほとんど知らない人しかいない所で初めは不安でいっぱいでしたが、たくさんの人を知り、仲良くなる中で、そんな不安はどこかへ吹っ飛びました(笑)。

LITの人たちの働きぶりに感動しました。中学生になる再来年はLITになりたいです。次のコンベンションが楽しみです。今後も続けてください。

(Lさん、11歳)